



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中尾 俊哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小林 敏敬 TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,129	14.8	△45	—	1	△96.8	△0	—
30年3月期第1四半期	983	53.4	63	—	61	—	53	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △79百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 60百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△0.08	—
30年3月期第1四半期	4.68	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	7,521	2,236	29.7	196.36
30年3月期	7,699	2,361	30.7	207.35

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 2,236百万円 30年3月期 2,361百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,921	38.7	511	185.5	494	157.3	418	1.7	36.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	11,402,636株	30年3月期	11,402,636株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	14,200株	30年3月期	14,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	11,388,436株	30年3月期1Q	11,388,436株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9
3. その他 .....	9
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）における我が国経済は、設備投資の増勢、資源価格の底打ちなどから輸出の拡大基調が続き、雇用環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移いたしました。

そうした中、当社グループは、「提案型営業」の推進により、営業力・技術力の強化に努め事業の成長と収益力の向上を目指して取り組んでまいりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,129百万円（前年同四半期は売上高983百万円）となりました。利益面におきましては、営業損失45百万円（前年同四半期は営業利益63百万円）、経常利益1百万円（前年同四半期は経常利益61百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は0百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①産業機械関連事業

飼料・製粉業界では、設備更新・工場集約化が顕著化しており、特に飼料業界では業界の再編に伴う大型案件が増加傾向にあります。更新工事等のプラント案件、機器・部品販売等に取り組んだことにより売上高は890百万円（前年同四半期は売上高804百万円）となりましたが、大型案件受注に向けた活動は活発化しているものの時期が変動したこと、工事の着工・進捗が遅れが生じたこと、販売費用が高んだこと等もあり営業損失は41百万円（前年同四半期は営業利益84百万円）となりました。

#### ②太陽光関連事業

ディベロップ事業を推進しておりますが、販売用分譲案件の完成引渡の積み上げ進捗度合いが弱含みであったこと、当社がアレンジャー企業として進めているSPC（特別目的会社）設立によるメガソーラープロジェクトについては、スポンサー企業による各種確認は進められており、共同開発の意向は確認されていますが、手続きを完結するまでには至らなかったことから、売上高は230百万円（前年同四半期は売上高168百万円）、営業損失は10百万円（前年同四半期は営業損失28百万円）となりました。

#### ③不動産関連事業

本社ビルの賃貸を行っています。賃貸収入は8百万円（前年同四半期は売上高10百万円）、営業利益は6百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産・負債・純資産に関する状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,521百万円（前連結会計年度末は総資産7,699百万円）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少824百万円、投資有価証券の減少568百万円、現金及び預金の増加290百万円、商品及び製品の増加271百万円、仕掛品の増加599百万円があったことによるもの等であります。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、5,285百万円（前連結会計年度末は負債5,338百万円）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少189百万円、短期借入金の減少363百万円、前受金の増加497百万円があったことによるもの等であります。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,236百万円（前連結会計年度末は純資産2,361百万円）となりました。これは、利益剰余金の減少46百万円、その他有価証券評価差額金の減少72百万円があったことによるもの等であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期（連結）会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末（前事業年度末）の数値と比較を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,252,220	1,542,777
受取手形及び売掛金	1,836,697	1,011,705
商品及び製品	69,344	340,944
仕掛品	1,433,130	2,032,673
原材料及び貯蔵品	41,224	47,520
前払費用	30,760	27,094
前渡金	169,182	200,334
その他	293,254	290,060
貸倒引当金	△6,004	△3,396
流動資産合計	5,119,810	5,489,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	122,957	132,466
機械装置及び運搬具(純額)	30,670	28,322
土地	926,416	926,416
リース資産(純額)	11,114	9,785
その他(純額)	24,958	26,318
有形固定資産合計	1,116,116	1,123,310
無形固定資産		
その他	63,226	61,597
無形固定資産合計	63,226	61,597
投資その他の資産		
投資有価証券	1,293,098	724,514
その他	119,285	133,907
貸倒引当金	△11,781	△11,781
投資その他の資産合計	1,400,603	846,641
固定資産合計	2,579,947	2,031,548
資産合計	7,699,757	7,521,262
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,499	586,457
電子記録債務	630,739	729,045
短期借入金	3,200,788	2,837,452
リース債務	5,537	5,236
未払法人税等	111,000	5,719
未払費用	23,837	77,264
前受金	80,586	577,672
賞与引当金	58,137	30,796
工事損失引当金	1,595	-
その他	70,366	66,585
流動負債合計	4,958,088	4,916,228

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	22,529	9,562
リース債務	6,514	5,329
繰延税金負債	68,149	68,149
退職給付に係る負債	242,741	245,467
資産除去債務	19,698	19,698
その他	20,643	20,643
<b>固定負債合計</b>	<b>380,276</b>	<b>368,849</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,338,364</b>	<b>5,285,078</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,414,059	1,414,059
資本剰余金	176,700	176,700
利益剰余金	758,046	711,566
自己株式	△8,941	△8,941
<b>株主資本合計</b>	<b>2,339,864</b>	<b>2,293,384</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△56,283	△128,734
為替換算調整勘定	77,811	71,535
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>21,527</b>	<b>△57,199</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,361,392</b>	<b>2,236,184</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>7,699,757</b>	<b>7,521,262</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	983,194	1,129,038
売上原価	714,090	880,132
売上総利益	269,104	248,905
販売費及び一般管理費	205,976	294,752
営業利益又は営業損失(△)	63,127	△45,846
営業外収益		
受取利息	582	6,572
受取配当金	621	11,707
有価証券売却益	-	33,142
その他	1,317	2,114
営業外収益合計	2,521	53,536
営業外費用		
支払利息	2,602	4,292
遊休資産諸費用	1,805	1,458
その他	4	1
営業外費用合計	4,412	5,752
経常利益	61,236	1,937
税金等調整前四半期純利益	61,236	1,937
法人税、住民税及び事業税	7,988	2,864
法人税等合計	7,988	2,864
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,247	△926
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	53,247	△926

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,247	△926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,019	△72,451
為替換算調整勘定	△8,309	△6,275
その他の包括利益合計	7,710	△78,727
四半期包括利益	60,957	△79,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,957	△79,653
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等の適用

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に記載しております。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	太陽光 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	804,636	168,156	10,401	983,194	—	983,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	804,636	168,156	10,401	983,194	—	983,194
セグメント利益又は セグメント損失(△)	84,933	△28,692	6,886	63,127	—	63,127

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	太陽光 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	890,396	230,028	8,613	1,129,038	—	1,129,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	890,396	230,028	8,613	1,129,038	—	1,129,038
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△41,886	△10,234	6,275	△45,846	—	△45,846

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。